学校番号	325

令和２年度　地歴科

教科	地歴	科目	日本史Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」改訂版　（山川出版）						
副教材等	新詳日本史　（浜島出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書を中心に、図説／資料、写真やパネル、ビデオ教材なども使って多角的に理解できるようにつとめる。また、主題学習や人物の学習、地域の動向など、各分野史の学習などを通して歴史の理解を深める。

２　学習の到達目標

●わが国の歴史を旧石器時代から現代までを学習する。日本の歴史は世界の歴史と同じく、さまざまな地域との交流において展開されてきたものである。したがって周辺地域・諸国との関係に目を向け、世界史的な視野もふまえて総合的に学び、歴史的な思考力を培う。

●２年次で学んだ近代以降の日本史のへの理解をより深めるため、近世までに列島で育まれた社会や文化に対する知識を整理し、現代史との連続性を理解する。

●上記のための基礎知識（教科書の太文字レベル）をしっかり身につけさせる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	例えば世界で評価されている身近な日本の伝統文化に目を向け、いかにして育まれてきたかを考えてみる。そこから伝統文化に限らず、全てが過去との関わりの中に存在していることがわかる。このことを端緒としてを日本史への興味・感心を喚起する。好きなテーマでレポートを書かせ、生徒の学習への意欲等を評価していきたい	一方通行の授業にならぬよう、いつも生徒に５Ｗ１Ｈを意識させる。特に「WHY」をしっかり考えさせる。また、歴史に対してはさまざまな判断が必要であることから、必ずしも断定的な答えを求めなるわけではない。それらがしっかりきるかを授業での発問や考査等で確認・評価していく。	日本の歴史に関する諸資料を収集し、または副教材である図説を有効活用し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりさせる。	歴史学習の基礎は歴史用語の把握（理解と暗記）である。興味関心をもって、少しでも多くの用語を把握して欲しい。旧国名には特に力を入れ、地理学習的な要素も取り入れて楽しく学習できるように工夫する。
評価方法	授業における発言等。 プリントやノートにおけるメモ等を見て取り組みへの意欲を知る。 レポートを提出させ、その内容や方法等で意欲的であるか否かを判断する。	定期考査 プリントにおいて思考を問う穴埋めにきちんと取り組んでいるか 授業における受け答え	定期考査 授業において図・グラフ・写真・地図などを読み解かせ、その技能がどの程度身についているかを見ていく。	小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本文化のあけぼの 律令国家の形成	文化の始まり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権 飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 天平文化 平安王朝の形成	○	○	○	○	a:日本人のルーツを考察させ、歴史への関心を持たせる端緒とする。 b:多面的・多角的に考察しているか否か。 c:さまざまな図・グラフ・地図等を読み解けるか。 d:地質年代、人名、事件名等の把握	ノート プリント 小テスト
1学期	貴族政治と国風文化 中性社会の成立	摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士 院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会 蒙古襲来と幕府の衰退	○	○		○	a: 武士政権が誕生という歴史の大きな転換点にしっかりと関心を高める b: 貴族社会、武士社会の相違 d: 人名、事件名等の把握。 王朝の衰退から幕府誕生への歴史的推移を重要語句を使って説明できるか	ノート プリント 小テスト
2学期	武家社会の成長 幕藩体制の確立	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場 織豊政権　桃山文化	○	○	○	○	a:戦国時代織豊政権の誕生まで、武士に焦点を据えて歴史のダイナミックな動きを見て関心を持つ b:室町時代には惣村が成立し、現在の社会につながる地域社会のありかたもよく見えてくる。そこで支配者層のみならず村における人々の暮らしや営みをさまざまな史料から考察する。 C:史料を読む力を身につけることができるか。 d:人名・用語の修得	ノート プリント 小テスト
2学期	幕藩体制の展開と動揺	幕藩体制の成立 幕藩体制の構造 幕政の安定 経済の発展 元禄文化 幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化 幕藩体制の瓦解	○	○	○	○	a:現在の日本を理解するためには江戸時代の理解が不可欠である。近代化への道に興味関心を高め、その要因の一つを江戸時代後半の日本を見て考察する。 b:世界の中の日本を考えたとき、江戸時代の文化・社会の特色を理解することが不可欠である。江戸時代から現代の日本を考察する。日本人としてのアイデンティティを表現できるか。 C:図説に示された江戸時代のさまざまなテーマを扱った多くの日本地図を見て封建制（地方分権）が日本にどのような影響を与えたかを読み取る d: 人名・用語の修得	ノート プリント 小テスト
3学期	近代社会の成立と現代の日本	立憲国家の成立 第一次世界大戦と日本 政党政治と大衆文化 世界恐慌と太平洋戦争 現代の日本と世界	○	○	○	○	a：日本史Ａの内容に立ち返り、古代からの歴史と現代日本との連続性を整理する。 b：明治憲法と政党政治の関係を起点とし、なぜ挙国一致体制が生まれたかを国際社会との関係の中で考える。 c：年表を通じて、政治体制、社会制度、文化・風俗の流れを捉える。 d:人名・用語の習得	ノート プリント 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。